

平成20年度「立ち上がる農山漁村～新たな力～」選定団体概要書

◎団体の種類：【観光協会】

1. 都道府県、市町村 愛知県南知多町^{みなみちたちょう}

2. 団体名 日間賀島観光協会

3. 取組概要等

◇支援・協力を行っている団体名及び活動の名称

団体名：日間賀島漁業協同組合（事例No. 22）

活動名：漁業と観光業の相互扶助による明るい島づくり

◇支援・協力をを行うこととなった経緯

人を呼び込み、サービスを提供するのが観光協会の役割で、一方で、新鮮な、島らしい魚介類を提供するのが漁協の役割である。そのような考えのもと、日間賀島漁協の取組に協力する背景としては、小さな離島でも人を呼び込める、魅力ある島にしたいとの思いが一致したことが大きなきっかけである。

◇協力している活動（日間賀島漁業協同組合）の概要

日間賀島漁業組合は、大正元年に島での持続可能な漁業経営と発展のために設立。その後、漁業生産量の増大を目指し、トラフグ、アサリ等もともと地元で獲れていた5種の魚介類の中間育成や放流による資源量確保の取り組みを継続して行っている。

一方で輸入品の増加による単価の低迷等により、漁獲高は減少傾向にあった。このため、地元観光協会と連携し、日間賀島産魚介類の付加価値向上を図るため、ブランド化を推進することによる単価向上と地域の魅力向上に努めている。

日間賀島観光協会と共同で、島内漁港で年に6～7回、日間賀島産の旬の魚介類を使った無料試食会を開催し新鮮な魚介類の美味しさを観光客にアピール

◇協力のポイント

・観光業の持つ集客力と海の専門家である漁協が協力することによって小学生・中学生の体験漁業の実施ができ、それは子供たちへ漁業の苦労と魚を獲る喜びを伝えている。

・観光業として、民宿、旅館の宿泊客には地元産の魚介類を提供しており、新鮮な、旬の魚介類の美味しさを味わってもらうためには漁協との協力と連携は不可欠である。